

第3回大腸癌治療ガイドライン改訂委員会議事録

日時：平成20年7月3日(木) 10時～11時

場所：パンパシフィック横浜ベイホテル B2F りんどう

出席者：(委員) 板橋道朗、伊藤芳紀、上野秀樹、唐澤克之、楠正人、固武健二郎、坂井義治、島田安博、田中信治、富田尚裕、濱口哲弥、渡邊聡明、(アドバイザー) 山口直比古(協力者) 井上靖浩、川村純一郎、松井孝至、安野正道(オブザーバー) 浅野道雄、植竹宏之、望月英隆、森 崇(五十音順、敬称略)

【まとめ】

A) 委員会報告

- 1) 英文名を "JSCCR Guidelines 2005 for the Treatment of Colorectal Cancer" とした
- 2) ①Minds、②平田班、③日癌治における活動が報告された
- 3) 「大腸癌治療ガイドラインの解説」の改訂作業進捗状況が報告された
- 4) 「大腸癌治療ガイドライン 2005年版」の改訂作業進捗状況が報告された

B) 討議

- a) エビデンスレベルと推奨度の分類、b) 文献検索の記載法、c) 資金、利益相反の開示
 - d) 評価委員会、外部委員の選任、の各項について討議した
- C) 査読会、次回委員会および公聴会の開催日程について検討した

.....

1) 前回会議事録を確認した

2) 委員会報告

a) 初版のガイドラインの英文名を "JSCCR Guidelines 2005 for the Treatment of Colorectal Cancer" とすることが報告された。

b) 活動報告

①Mindsのガイドライン作成グループ意見交換会(6月7日). ②第3次対がん総合戦略研究「がん診療あるいは治療ガイドラインの公益性を目的とした公開のための体制作りに関する研究(平田班)」(7月1日). 研究費の支援を受けている. ③日本癌治療学会ガイドライン委員会に参加.

c) 「大腸癌治療ガイドラインの解説」改訂作業の進捗状況

アンケート調査結果に配慮して改訂作業を行った. 今秋に金原出版から刊行される予定.

d) 「大腸癌治療ガイドライン 2005年版」改訂作業の進捗状況

①文献検索・文献選択: MEDLINE と医中誌、電子化以降 2007年12月までの文献を対象として網羅的な文献検索を行っている. 実務を4人の図書館員の方々にお願いした. 2008

年6月現在、一次選択された1242本の論文のフルペーパーを入手した。②ガイドライン2005の改訂：改訂案が提出された。本年10月末に初稿を脱稿する予定である。③CQとステートメントの作成：現在CQ案が出揃っていないが、早急にCQとステートメントを確定し推奨度の決定を行う。

3) 討議

- a) エビデンスレベルと推奨度の分類、b) 文献検索の記載法、c) 資金、利益相反の開示、
- d) 評価委員会、外部委員の選任、の各項について討議した。

4) 査読会、次回委員会、公聴会の日程

委員のスケジュールを調整し10月までに全領域の査読会を行う。メーリングリストでの討議と併行して、複数回のミーティングを開催する。公聴会を第70回大腸癌研究会（当番世話人の森谷亘皓先生）の当日に行うことを決定した。